| 回覧 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | |

# 垂水市農林技術協会だより

第５号：令和７年８月１日発行

発行・事務局：垂水市農林課
問合せ先：32-1224（直通）

● 内　容

・農林課職員による現地確認について
・鳥獣侵入防止柵の管理をしっかりしましょう!
・サツマイモ基腐病防除対策について
・（農業者の皆様へ）台風等気象災害に備えましょう!
・農薬の適正使用について
・農地の畦畔等の管理について
・令和７年度経営研修会について
　～経営継承・節税・雇用の３視点で視た法人化のメリット・デメリット～

農林技術協会だよりは市のホームページでも掲載しています　→

垂水市公式LINE
＼友だち募集中！／

## 農林課職員による現地確認について

次の現地確認等を8月から9月にかけて行います。
職員が、ほ場へ立ち入ることがありますので、あらかじめご了承ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

〇経営所得安定対策等交付金

水田において、主食用米以外の転作作物（WCS用稲、飼料作物、野菜等）を作付け・販売する農業者を支援するため、経営所得安定対策等交付金が支払われており、この申請農地の作付け状況や水田の利用状況を調査します。

〇中山間地域等直接支払制度

中山間地域において、農業を継続するために集落などが協定を結び、農用地を維持・管理するために、面積に応じて交付金が支払われており、この対象農地の管理状況等について確認を行います。

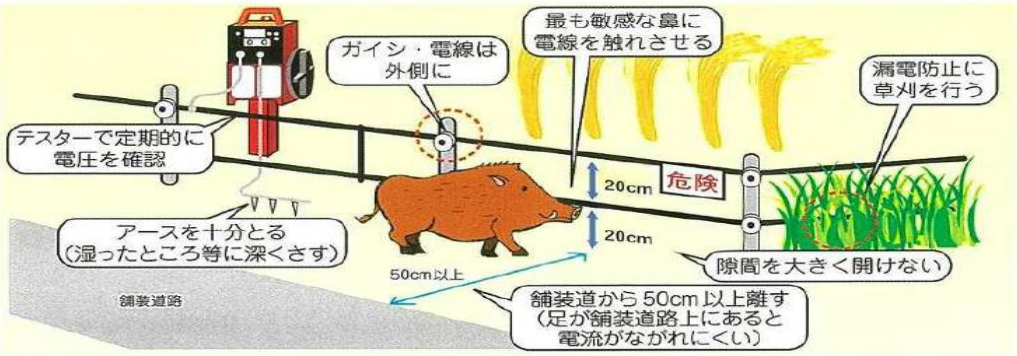
# 鳥獣侵入防止柵の管理をしっかりしましょう!

鳥獣被害防止対策として設置する電気柵、メッシュ柵、防鳥網等は正しく管理されていますか？設置方法や設置後（収穫後）の管理をあやまると十分な効果が発揮されないことからしっかり管理しましょう！

## ◆設置・管理のポイント

### 電気柵

・動物は電線の下をくぐろうとするので、1段目の高さは20cmとする
・アースは十分にとる（アース棒を地中に深くさす）
・アスファルト道やコンクリート道から30~50cm以上離して張る
・支柱の押し倒しを防ぐため、ガイシは外側に向ける
・安全には気をつける（「危険」の表示）
・支柱間隔は4m以下とする
・定期的な管理を行う（漏電させないための草刈や電圧確認）




### ワイヤーメッシュ柵

・設置前になるべく整地してワイヤーメッシュと地面との隙間をなくす
・支柱は30~50cm程打ち込む
・（イノシシの）幼獣の侵入を防ぐには、 下部の網目は10cm以下がよい
・傾斜が変わる所では、メッシュ同士を重ね隙間をなくす
・側溝など凹部をまたぐ場合は、カットしたワイヤーメッシュを設置
・金網の径は5mm以上とし、 防錆仕様 （亜鉛メッキ等）とする
・侵入防止柵周辺の草木が繁茂しないよう、定期的な柵周辺の草刈を行う

### 収穫後

- **畑に収穫残さを放置しない**
  収穫残さは適切な処分、あるいは土にしっかりすき込むなど対策をしましょう！
- **雑草を管理する**
  柵の修繕をしっかり行い、柵や柵周辺が繁茂しないよう草刈りを定期的に行う！
- **収穫後も電気柵は撤去せず、電気を流し農地への侵入を防止する**
  一旦、えさ場と認識すると柵の電流を察知しても臆することなく侵入してきます！

# サツマイモ基腐病防除対策について

基腐病菌は、育苗床や収穫後の残さで越冬し、翌年の発生源となります。育苗・植付が終わり次第、次年産に向けた基腐病防除対策を行いましょう。

## 1　育苗が終わったら・・・

残さを苗床の外へ持ち出す

**地温が高い**夏場に**複数回耕うん**して分解促進

バスアミド微粒剤(ガスタード微粒剤)等を土壌混和した後，ビニールで**全面被覆**

**ここがポイント！**

①土を握りしめて放したら，数個に割れる程度の土壌水分を確保
②地温が20℃の場合，10 ～ 14 日間ビニールで**全面被覆**
（地温15℃以上が必要）

## 2　収穫が終わったら・・・

収穫後

残さをできるだけほ場の外へ持ち出す

ロータリーで**複数回耕うん**して分解促進

**ここがポイント！**

①**地温が高い（20℃以上）**時期に**複数回耕うん**
②残さが十分に水分を含んでいる**収穫直後**に行う

# （農業者の皆様へ）台風等気象災害に備えましょう！

近年、台風や豪雨をはじめとした気象災害により、農作物や農業用施設などの被害が多く発生しております。常に気象情報に注視市、日ごろから点検・保守管理を実施して被害軽減に努めてください。なお、気象災害により農作物や農業施設などの被害が発生した場合は、農林課までご連絡をお願いします。

## ■ 事前対策

（露地）

1. 排水路等を点検・整備し、長時間の冠水、滞水防止に努める。
2. 防風垣、防風ネット等の補強を行い、強風による被害を最小限に食い止める。特に風圧のかかる両端は重点的に補強する。
3. 収穫期に近い野菜等は、収穫する。
4. 豆類、かぼちゃ、葉根菜類等は、可能であればべた掛け資材で被覆する。

（施設）

1. 谷樋や柱等の腐食・サビ、留め金具の緩み、被覆材や出入り口等を点検し、必要な補修を行う。斜材等を設置し、構造強化を行う。
2. ハウス周辺の地面は、雨水の滞留やハウス内侵入を防ぐよう整備する。谷樋、縦樋及び排水溝は雨水を速やかに排水できるよう清掃する。
3. 停電が発生した場合に備え、天窓・側窓の手動換気やカーテンの手動開閉について手順を確認し、操作器具や足場を準備しておく。
4. 飛来物による被覆材の損傷を防ぐため、ハウス周辺の清掃を行う。
5. 倒壊の危険がある強風が予想されるときは、被覆材を除去しておく。

## ■ 事後対策

（露地・施設）

1. 所有している農地を確認し、異常がないか点検する。ハウスに異常があった場合は、早急に修繕を行う。
2. 台風通過後、速やかに排水を行う。特に高温期は、長時間滞水しないように注意する。
3. べた掛け資材は、直ちに除去する。
4. 茎葉の折損部からの病害侵入を防ぐため、直ちに殺菌剤の散布を行う。また、草勢の回復を図るため、葉面散布または化成肥料による追肥を行う。

農林水産省では、農業者の皆さまに豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報を発信しています。 ⇒

# 農薬の適正使用について

　農薬は、植物の病気や害虫の防除、除草などにおいて有効な資材ですが、使い方を誤ると周辺の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。事故や被害を未然に防ぐためにも正しく使用しましょう。

農薬の適正使用　農林水産省　検索

農林水産省のホームページから、より詳しい情報を入手できます

## 農地の畦畔等の管理について
## ～耕作地だけでなく畦畔の管理も重要です～

畑や水田等の農地の畦畔等の管理不足により、雑草が繁茂し、近隣農地や歩道等へ迷惑となっていると相談が寄せられています。

畦畔に雑草が繁茂

刈り取った雑草を道端や水路に放置

【問題点】
以下の可能性があります。
- 病害虫の発生
- ゴミの不法投棄
- 事故・災害のリスクが高まる

みなさんが気持ちよく耕作できるよう草払い等を行い、大切な農地を守っていきましょう！！

**耕作者や所有者の方々は、適切な畦畔等の管理をお願いします。**

## 令和７年度経営研修会について
### ～経営継承・節税・雇用の３視点で視た法人化のメリット・デメリット～

法人化は農家経営の合理化・雇用確保・円滑な経営継承等を図るための有効な手段であることから、農業経営スペシャリスト（税理士）を講師に招き、法人化のメリット・デメリット等について学ぶ研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。

１　日　　時：令和７年９月17日（水）午後１時30分から午後３時30分まで

２　場　　所：大隅地域振興局　別館２階　大会議室
【住　所】鹿屋市打馬２丁目16－６

３　研修内容：法人化について
（経営継承・節税・雇用の３視点で視た法人化のメリット・デメリット）

４　講　　師：川路 卓朗　税理士

５　主 催 者：大隅地域振興局　農政普及課
かごしま農業経営・就農支援センター

６　申 込 先：垂水市役所　農林課　農政係へ電話にてお申込みください
（電話32-1111〔内線239〕　※ご氏名、経営品目名をお知らせください）

７　申込期限：令和７年８月29日（金）まで